



## 平成25年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年8月9日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 岡本工作機械製作所  
コード番号 6125 URL <http://www.okamoto.co.jp>

代表者 (役職名) 取締役社長

(氏名) 西本 實男

問合せ先責任者 (役職名) 取締役財務部長

(氏名) 高橋 正弥

TEL 045-477-5231

四半期報告書提出予定日 平成24年8月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成25年3月期第1四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第1四半期	3,618	△15.4	△366	—	△604	—	△642	—
24年3月期第1四半期	4,278	13.3	△397	—	△578	—	△576	—

(注) 包括利益 25年3月期第1四半期 △925百万円 (—%) 24年3月期第1四半期 △692百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第1四半期	△14.48	—
24年3月期第1四半期	△13.00	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年3月期第1四半期	25,605	6,975	27.2	157.24
24年3月期	27,927	7,901	28.3	178.10

(参考) 自己資本 25年3月期第1四半期 6,975百万円 24年3月期 7,901百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	—	—	0.00	0.00
25年3月期	—	—	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

25年3月期の1株当たり配当予想額は、現時点では未定であります。

### 3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	9,400	△8.0	△50	—	△200	—	△250	—	△5.64
通期	21,500	△11.0	1,000	29.1	750	175.8	450	434.4	10.14

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 第1四半期より減価償却方法の変更を行っており、「会計方針の変更を会計上の見積りの変更と区別することが困難な場合」に該当しております。詳細は、添付資料2ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(1)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期1Q	47,178,956 株	24年3月期	47,178,956 株
② 期末自己株式数	25年3月期1Q	2,817,550 株	24年3月期	2,815,181 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期1Q	44,362,763 株	24年3月期1Q	44,370,941 株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、現時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、その達成を当社として約束する主旨のものではありません。また、実際の業績は今後の様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項については、四半期決算短信(添付資料)2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。
2. 25年3月期の配当予想につきましては、今後の業績動向等を見極めつつ検討したいと考えており、現時点では未定であります。予想額の開示が可能になった時点で速やかに開示いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	2
(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	2
3. 四半期連結財務諸表 .....	3
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	7
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、欧州の債務危機や長期化する円高等、景気に対する懸念要因もありましたが、東日本大震災の復興需要等を背景とした企業収益の改善により、緩やかな回復傾向で推移しました。

海外におきましては、欧州債務危機再燃の影響も取り沙汰される中、米国では、失業率が依然として高い状態にあるなど回復に懸念がみられ、中国でも欧州向け輸出の落ち込みなどから景気減速に歯止めがかからず、世界経済の先行きは、依然として不透明な状況が続いております。

このような状況の中で当社グループは、顧客の幅広いニーズに対応した製品の開発や海外市場への積極的な販売活動の展開、また、内製化率の向上や固定費の圧縮など、徹底したコスト削減に重点を置き、収益性の向上に努めてまいりました。

その結果、当第1四半期連結累計期間の連結売上高は前年同期比15.4%減の3,618百万円、経常損失は604百万円（前年同期は経常損失578百万円）、四半期純損失は642百万円（前年同期は四半期純損失576百万円）となりました。

### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比較して2,321百万円減少し、25,605百万円となりました。主な要因は、たな卸資産が574百万円増加した一方で、受取手形及び売掛金が2,538百万円、有形固定資産が341百万円減少したことによるものであります。

当第1四半期連結会計期間末の負債の合計は、前連結会計年度末と比較して1,396百万円減少し、18,630百万円となりました。主な要因は、支払手形及び買掛金が1,064百万円、未払法人税等が187百万円、短期借入金と長期借入金が合計で102百万円減少したことによるものであります。

また、純資産は、前連結会計年度末と比較して925百万円減少し、6,975百万円となりました。この減少の主な要因は、四半期純損失642百万円及び円高に伴う為替換算調整勘定の減少269百万円によるものであります。

この結果、自己資本比率は前連結会計年度末の28.3%から27.2%となりました。

### (3) 連結業績予想に関する定性的情報

今後の経済動向につきましては、欧州債務問題や長期化する円高、新興国における経済成長の減速等、景気の先行きは、依然として不透明な状況が続くと予想されます。

このような中で当社グループは、環境・エネルギー分野など、様々な顧客ニーズに対応する製品の開発を迅速に進め、成長が見込まれる市場に対しては販売活動の強化を実施していきます。

さらに、内製化率を高め、固定費を圧縮するなどして、生産コストを徹底的に削減し、利益確保に向けた諸施策を実施し、収益性の向上に努めてまいります。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

### (1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更）

国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これによる当第1四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,964	2,983
受取手形及び売掛金	7,554	5,015
商品及び製品	1,225	1,492
仕掛品	3,062	3,450
原材料及び貯蔵品	2,694	2,613
その他	417	396
貸倒引当金	△54	△47
流動資産合計	17,864	15,905
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	4,044	3,880
機械装置及び運搬具（純額）	2,892	2,751
その他（純額）	2,076	2,039
有形固定資産合計	9,013	8,671
無形固定資産		
投資その他の資産	123	112
投資有価証券	207	194
その他	737	742
貸倒引当金	△20	△20
投資その他の資産合計	925	915
固定資産合計	10,062	9,700
資産合計	27,927	25,605
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,487	2,423
短期借入金	10,558	10,341
1年内返済予定の長期借入金	1,306	1,367
未払法人税等	199	11
賞与引当金	166	102
その他	1,124	1,161
流動負債合計	16,842	15,409
固定負債		
長期借入金	1,799	1,852
退職給付引当金	1,001	997
資産除去債務	79	79
その他	303	292
固定負債合計	3,184	3,221
負債合計	20,026	18,630

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,880	4,880
利益剰余金	6,293	5,651
自己株式	△1,343	△1,343
株主資本合計	9,830	9,188
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△2	△15
為替換算調整勘定	△1,927	△2,196
その他の包括利益累計額合計	△1,929	△2,212
純資産合計	7,901	6,975
負債純資産合計	27,927	25,605

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)
売上高	4,278	3,618
売上原価	3,517	2,893
売上総利益	760	725
販売費及び一般管理費	1,158	1,091
営業損失(△)	△397	△366
営業外収益		
受取利息	2	1
受取配当金	2	11
物品売却益	4	4
その他	11	25
営業外収益合計	19	42
営業外費用		
支払利息	75	72
為替差損	95	178
その他	30	29
営業外費用合計	201	280
経常損失(△)	△578	△604
税金等調整前四半期純損失(△)	△578	△604
法人税等	△1	37
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△576	△642
四半期純損失(△)	△576	△642

(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△576	△642
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△3	△13
為替換算調整勘定	△111	△269
その他の包括利益合計	△115	△282
四半期包括利益	△692	△925
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△692	△925



(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。